B3 輪講 LaTex 課題

1 はじめに

進捗報告や研究発表会の際の資料などに望ましい LaTeX の構成例です.

この PDF の例を見本として,「practice.tex」を元 に同じものを作成してください.

名前や日付は適切なものに書き換えてください.

1.1 課題での留意点

- ~practice~ の部分を適宜補う
- 図表を適切な位置に張り付ける
- 図表と式に対しては \label と \ref を使う
- bibtex を使って参考文献をのせる

2 要素技術

2.1 要素技術 1

データ $x_1,...,x_n$ から出力 y を得られる. (1) 式に 具体的な算出方法を示す.

$$y = \sum_{i=0}^{n} \frac{\exp(x_i)}{x_i} \tag{1}$$

2.2 要素技術 2

Bengio らはニューラルネットワーク言語モデルを提案した [1]. Bahdanau らは出力ごとに入力単語に対する荷重を決定してエンコードするアテンションモデルを提案した [2].

3 提案手法

提案手法はうんたらかんたら~

4 実験

実験をかくかくしかじか~

表 1: 実験結果

予測	評価回数	Accuracy [%]	Baseline $[\%]$
投票先	160,284	79.43	75.68
処刑先	21,626	89.26	79.31

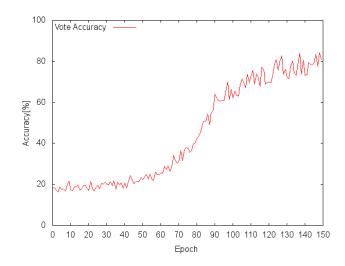


図 1: Accuracy の推移

5 実験結果

表 1 に実験結果を示す. 図 1 に Accuracy の推移 を示す.

6 今後の課題

今後の課題はうんぬんかんぬん~

参考文献

- [1] Yoshua Bengio, Réjean Ducharme, Pascal Vincent, and Christian Jauvin. A neural probabilistic language model. *Journal of machine learning research*, Vol. 3, No. Feb, pp. 1137–1155, 2003.
- [2] Dzmitry Bahdanau, Kyunghyun Cho, and Yoshua Bengio. Neural machine translation by jointly learning to align and translate. arXiv preprint arXiv:1409.0473, 2014.